

一 事業主側

會社側ニ在テハ注文品數ナキ為メ打聞策トシテ操短ヲ宥弛ス
 ルニ至レムカ爭議發生ノ道後米國取引先ヨリ多量ノ注文品ニ
 接シタル為メ遂カニ要求ノ殆ントテ承認シ解決スルコト、ナ
 リ下記交渉ニヨリ解決セムトシタルニ職工中尤傾分子カ工場
 管理等ヲ要求シタルモ折衝、上岡滿解決ヲ告ケルニ至レリ

二 爭議團體

爭議團體本部ニ引揚ケ対策セルモノ約五十名ニ達シ之等ノ者ノ
 主唱ニテ職工又兄大会ヲ開催スルニ至レムカ職工監督渡辺清
 次外六名ハ如斯事態ヲ惹起シタル責任上十三日ニ至リ辭表ヲ
 呈出スルニ至レムカ尤傾分子ハ全限日本化學労働組合ト密結
 シ東京セルロイド分会ニユース、ニ號ヲ發行シ松大強化ニ努

メツ、アリ 十四日ハ給料支払日ナリシモ會社ハ金融硬塞ノ
 状態ナリレ為メ百方奔走ノ結果全日夕ニ至リ支給セルニヨリ
 平穩ニ飯シタルカ全日幾五時次記ノ如ク交渉セリ

三 交渉状況及解決條件

會社側ハ叙上ノ如ク多量ノ注文ニヨリテ解決ヲ急キタルカ他
 面爭議参加者モ會社ノ誠意ヲ認メ十四日夕五時會社樓上ニ於
 テ會社側代表

藤安社長及監査役 芳幼者側 矢野宿子外十名

之會人下請員等自助浴外四名
 會見ノ上要求条項ヲ逐次審議折衝ノ結果別記ノ如ク書ヲ作
 製シ岡滿解決シ翌十五日ヨリ一斉就業スルコト、ナレリ

四 解決後ノ状況

前叙ノ通り解決セルヲ以テ翌十五日前八時ヨリ堀ノ内選誠館
 ニ於テ解團式ヲ行ヒタルニ参加者男女工二百二十名アリ交渉